

「都立の大学を考える都民の会」のご案内・賛同呼びかけ

みなさま

既に報道などでご存じの方も多いと思いますが、現在東京都立の4つの大学（東京都立大学、東京都立科学技術大学、東京都立保健科学大学、東京都立短期大学）は、東京都による一方的な「新しい大学づくり」の強行によって、廃校の危機にあります。

このような一方的な「大学廃校・新大学づくり」の動きに反対し、本当の意味で「都民のための大学」をつくってほしいとの思いから、わたしたちは去る11月1日に「都立の大学を考える都民の会」を設立しました。会は学内の各団体・個人による様々な活動を支援すると共に、「都民」（もちろん狭い意味での「都民」に限らず学生・院生の父母の方や大学のあり方に関心を寄せる市民の方も）に都立大の現状を知らせ、「都立の大学を守ろう」という声を広範な都民に広げていくことを目標として活動します。

この「都立大学問題」は、東京都によるこの間の教育・福祉分野における様々な攻撃と軌を一にすものです。その意味で、この問題はけっして都立4大学だけの問題ではなく、広く都民全体で考えていくべき問題であるとわたしたちは考えています。

ぜひ多くの方々に会にご賛同・参加いただきたくご案内・呼びかけいたします。

賛同者（＝会員）になってくださる方、会の活動に関心がある方、あるいはメールニュース配送を希望される方は、下記「都民の会」Eメールアド

レスまでご連絡下さい。あわせて会の活動へのご意見・要望などもお寄せいただければ幸いです。

またご賛同頂ける場合には、是非とも皆さんの周囲へと、この呼びかけを更に広げてください。

それでは。失礼します。

この問題に関する茂木俊彦都立大学総長のインタビューが『世界』（岩波書店）2003年12月号に掲載されています。この間の経緯や詳細についてお知りになりたい方は是非ご覧ください。

「都立の大学を考える都民の会」（連絡先）

（Eメール連絡先） ganbare_toritudai@yahoo.co.jp

（ホームページ） <http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Lounge/3113/index.html>

（事務局） 〒184-8501

東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学障害児教育講座

高橋智研究室気付け「都立の大学を考える都民の会」

〒194-0298 東京都町田市相原町4342 法政大学 社会学部

荒井容子研究室気付け「都立の大学を考える都民の会」

（賛同カンパ振込先） 郵便局口座名義 都立の大学を考える都民の会

口座番号 00190-5-481324

：個人参加はカンパ（1口1000円、学生1口500円、何口でも可）

：組織参加は入会費（1口1万円、何口でも可）

「都立の大学を考える都民の会」設立趣意書

呼びかけ人（五十音順）

池上洋通（自治体問題研究所主任研究員）、金子ハルオ（都立大学名誉教授）、清水誠（同）、暉峻淑子（埼玉大学名誉教授）、山口昭男（岩波書店社長）

2003年8月以降、都立の大学をめぐる動きは大きく変わってきました。東京都の大学管理本部は、これまで都立大学と大学管理本部との間で積み重ねてきた議論や合意を一方的に破棄し、「新しいタイプの大学づくり」を強行に進めようとしています。

私たちは、現在のような「大学改革」の進め方に、都民として強い憤りを感じています。このように強引で非民主的な「改革」の進め方に、私たちは反対します。

もちろん私たちは、都立の大学が現状のままでよいと考えているわけではありません。改革のプロセスがもっと都民に開かれること、その中で都民の声に大学は誠実に耳を傾けて欲しいという思いを持っています。

しかし現在進められている「改革」は、「都民の声」

を口実に進められながら、その実都民の声を全く無視して進められています。都立の大学に対する本当の「都民の声」はどのようなものなのか、そのことを私たちは、様々な立場の都民と共に丁寧に考えていきたいと思えます。そのためにも、現在の東京都による一方的な「改革」を押しとどめる必要があります。

私たちは、都立の大学に、将来に対する様々な不安を抱えながらも、学問研究への取り組みを通じて社会に貢献しようとしている教員や院生、あるいは大学での学びを通じて自分自身の生き方を模索しようとしている学生、毎日の事務作業を通じて大学を支えている職員がいることも知っています。彼らはそれぞれの立場から、都立の大学を守るために様々な取り組みをしています。私たちはこのような取り組みを大学の外から応援していくとともに、都民として率直に現在の大学に対する意見・要望を伝え、都立の大学を真に「都民のための大学」とするための取り組みを進めていきたいと考えています。

1. 名称「都立の大学を考える都民の会」

名称については、働きかけの対象が東京都であることから「都民」としますが、取り組みへの参加は、都民に限らず、広く呼びかけていくこととします。

2. 目標と課題

私たちは東京都による強引で一方的な大学改革の進め方に反対し、都立の大学を「都民のための大学」にするための取り組み / 議論を進めていきます。

私たちは当面、都立の新しい大学が以下の点を大学の基本的な姿勢として尊重することを求めます。

「短期大学夜間部・都立大学B類等などがこれまで積み重ねてきた、社会人・勤労学生・経済的に困難を抱える青年・学生の学ぶ権利を保障する取り組みを継承・発展させること」

「都立の大学がこれまで積み重ねてきた学問的な到達を尊重し、多様な学問分野での真理探究の営みを通じて広く都民に貢献すること」

「民主的な合意形成を尊重し、学生・院生・教職員等各構成員の要望・声を大学運営にきちんと反映させること、またカリキュラムなど教育課程の編成や大学教育のあり方について学生・院生の意見を尊重すること」

「父母・都民（市民）に対して積極的に情報公開を行い、父母・都民から大学に寄せられた声・期待に誠実に耳を傾けること」

3. 都民の会の組織

- ・都民の会は、呼びかけ文に賛同するメンバーで構成する。
- ・呼びかけ人代表をおく。
- ・世話人会をおく。世話人会は、会の活動内容と運営について、必要に応じて協議する。
- ・事務局をおく。事務局は、HP維持管理、名簿管理、ニュース発送、資金管理を担う。

4. 活動期間

当面、今年度（2004年3月）いっぱいとし、その後については今年度末に総会を開催し改めて話し合う。

5. 賛同費

(1)個人参加はカンパ

（1口千円、学生1口500円何口でも可）

(2)組織参加は入会費（1口1万円何口でも可）

カンパは、都民の会としての活動費用、及び、事務局維持管理費用（HP維持実務、名簿管理、ニュース編集発送、資金管理などの作業に対する謝金）にあてる。

6. 行動提起

- ・呼びかけ人の組織化、及び、陳情・誓願などの活動
- ・「都民の声」を届けるための集会、懇談会活動
- ・情報公開請求活動
- ・その他、大学当事者による諸活動への協力、支援

都立の大学を考える都民の会 入会申込書(団体会員)

団体名:

連絡先:住所

電話番号

E-mail

会 費:

_____口_____円 (1口 10,000 円)

できる範囲で力をお貸してください。

世話人会への参加 賛同人を募る 小集会や懇談会への参加・お住まいの地域での開催 陳情・請願活動への参加 発送作業やデータ入力など その他メッセージなど何でも結構です。是非ご記入ください。